

八代市 北部中央雨水調整池周辺 内水ハザードマップ

北部中央雨水調整池

八代市 建設部 下水道建設課

〒866-0862 熊本県八代市松江城町1-25
TEL:0965-33-4458(直通)

令和3年3月作成

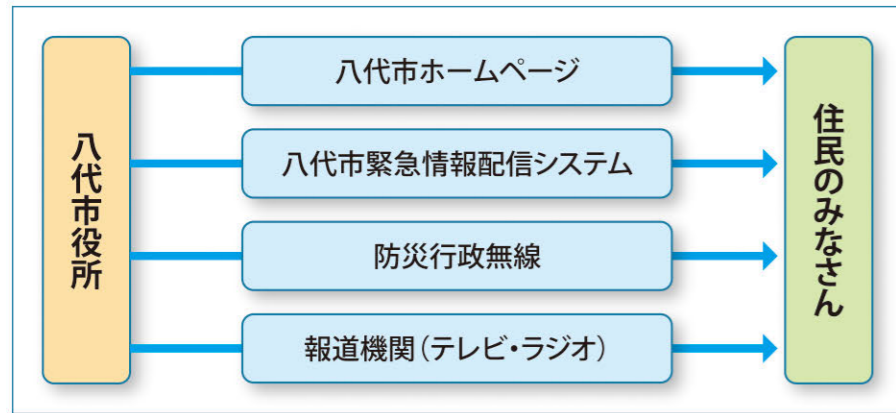
●雨の強さと降り方(1時間雨量)

大雨が降りだしてからの避難や、夜間の避難は大変危険です。早めに避難してください。

※気象庁資料参照

10~20mm未満	20~30mm未満	30~50mm未満	50~80mm未満	80mm以上
やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。	土砂降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。小河川の氾濫や、がけ崩れの心配もあります。	バケツをひっくり返したように降る雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。	滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。屋内で寝ている人の半数くらいが気づくほどの激しい雨です。	息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害が発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要です。

●避難情報等の伝達経路



- 八代市からは、左図の経路で住民のみなさんに避難情報を伝達します。
- このほかにも気象情報等を活用して、積極的な情報収集に努めましょう。



浸水時の避難

歩ける深さは約50cmまでです。水深が腰まであるようなら無理は禁物です。早めに高所に避難しましょう。

水面下はどんな危険が潜んでいるかわからないので、長い棒を杖代わりにして安全を確認しながら歩きましょう。

避難時の裸足、長靴は厳禁です。長靴は脱げやすく危険なので、紐で締められる運動靴を履きましょう。

はぐれないようお互いの体をロープで結んで避難しましょう。特に子どもから目を離さないようにしてください。

●水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければなりません。そのような場合は、避難場所への移動(水平避難)だけでなく、近隣ビルなど高所への避難(垂直避難)を行い、救助を待つという判断も必要です。



●浸水への備え

浸水が浅い場合には、土のうや水のうを設置することで、水が建物へ侵入するのを防げます。土のうがある場合は土のうを使用し、無い場合は水のうを使用しましょう。

土のうの簡単な作り方(例)

- ①底に穴が開いたバケツ(植木鉢等、枠でも可)を用意します。
- ②土のう袋の中に、底に穴が開いたバケツを入れます。
- ③土のう袋の半分くらいになるまで土を入れます。
- ④土のう袋からバケツを取り出します。袋の口を絞り、ひもで閉じたら完成です。

▶土のうステーションについて
八代市では、集中豪雨や台風による浸水被害を軽減するために、市民のみなさんが利用可能な「土のうステーション」を設置しました。必要に応じてご自由に土のうを持ち出いただき、ご自宅の浸水を防ぐためにご活用ください。

家庭でもできる浸水対策

家庭でもできる簡単な浸水対策として、植栽用プランターや石油ポリタンク、長めの板(はしごやテーブルでも可)などを、ビニールシートに包んで設置する等の方法があります。

**簡易水防工法例①
プランター+ビニールシート**
土を入れたプランターをビニールシートで巻き込んだものを使用し、浸水を防ぎます。

**簡易水防工法例②
簡易水のう+止水板**
簡易水のうを作り、長めの板などと組み合わせ、出入口口に設置し、浸水を防ぎます。

簡易水のうの作り方

家庭で使用しているごみ袋(40リットル程度の容量)を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。